

水害や土砂災害から自分の命、 家族の命を守るために確認を!

問い合わせ 防災室 ☎229-3104 📠223-6247

ステップ1 自宅や学校、職場にどんな危険があるのかを知る

- 津市が作成しているハザードマップ等を見て「河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか」「土砂災害が起こりやすい場所ではないか」など、自宅や学校・職場などのよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 津市が指定している指定避難所を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。



ハザードマップ等

ステップ2 津市から発令される 避難情報の種類を確認

国のガイドラインの改定により、避難情報に警戒レベル3～5を付けて発令!

重要度が高い

警戒レベル3 避難準備・ 高齢者等 避難開始	避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合 <ul style="list-style-type: none"> いつでも避難できるよう準備し、身の危険を感じる人は避難を開始する 避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある人、乳幼児など)は避難を開始する
警戒レベル4 避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合 <ul style="list-style-type: none"> 避難場所へ避難する 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難する
警戒レベル4 避難指示 (緊急)	状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合 <ul style="list-style-type: none"> まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難する 外出することで命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難する
警戒レベル5 災害発生 情報	すでに災害が発生している状況 <ul style="list-style-type: none"> 大至急、建物内のより安全な場所に避難するなど、命を守るための最善の行動をとる

ステップ3 もしもの時に備えて、事前に避難方法などをチェック

- 大雨などにより、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くのより安全と思われる建物(上階が浸水しない建物、川沿いでない建物など)に移動しましょう。
- 外出すら危険と思われる場合は、建物内のより安全と思われる部屋(上層階の部屋、山からできるだけ離れた部屋)に移動しましょう。
- 津市では、右記の方法などで避難情報等の伝達を行いますので、事前に確認・登録し、ご利用ください。

災害時の避難情報などの伝達方法

- 同報系防災行政無線*
- 津市防災情報メール(多言語版もあります)
- エリアメール・緊急速報メール*
- ファクス送信サービス
- 電話応答サービス
- 緊急告知ラジオ
- 津市ホームページ
- ※地区単位で伝達



津市防災サイト